

静岡消防の概況



静岡市消防イメージキャラクター

「かけつけ消防3部隊 カワセミーズ」

事業概要

静岡市消防局は、静岡県中部に位置する3市2町（静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）を管轄とし、約87万住民の命を預かる消防組織です。

複雑多様化する災害に対して、災害対応に重要な役割を担う消防庁舎の改修、消防車両等の整備を進めるとともに、令和3年4月に消防隊員の安全管理と教育訓練の更なる強化を図るため、警防課内に新たに「災害機動支援・部隊管理室」を設置しました。

また、人材育成の強化を図るため、研修等を拡充させ、職員の資質向上に努めるとともに、女性職員が活躍できる職場環境の整備を推進するなど、地域住民へのより良い消防サービスの提供に努め、「誰もが安全・安心に暮らせるまち」の実現を目指します。

ひと目でわかる静岡消防

令和3年4月1日現在

概況	 構成市町・面積	 管轄区域の人口	 管轄区域の世帯数	 消防予算
	静岡市 1,411.83 ㎢ 島田市 315.70 ㎢ 牧之原市 111.69 ㎢ 吉田町 20.73 ㎢ 川根本町 496.88 ㎢ 計 2,356.83 ㎢	静岡市 692,374人 島田市 97,470人 牧之原市 44,560人 吉田町 29,382人 川根本町 6,412人 計 870,198人	静岡市 313,857世帯 島田市 37,764世帯 牧之原市 15,877世帯 吉田町 10,519世帯 川根本町 2,755世帯 計 380,772世帯	10,982,784千円
組織・施設	 本部・署所	 消防職員	 静岡市消防団員	 職員の採用人数
	消防本部 2部8課 消防署 9署 出張所 24所 (1分署含む)	条例定数 1,040人 職員総数 1,034人 (うち女性 43人)	静岡市 2,375人 島田市 787人 牧之原市 472人 吉田町 135人 川根本町 278人	24人 (うち女性 3人)
車両・水利	 ポンプ車等	 特殊車等	 救急車	 消防水利
	主な車両 ポンプ車 42 台 化学車 9 台 救助工作車 9 台 はしご車 6 台 指揮車 14 台	大型放水砲搭載ホース延長車 大容量送水ポンプ車 拠点機能形成車 特殊災害対応自動車 大型除染システム搭載車 消防ヘリコプター 情報収集活動ドローン 各 1 台 水上オートバイ	救急自動車 35 台	消火栓 14,615基 防火用水槽 2,505基 防火用井戸 898基 プール 312箇所
災害の状況	 火災件数	 出火原因	 救急件数	 救助件数
	静岡市 146件 島田市 23件 牧之原市 22件 吉田町 11件 川根本町 3件 計 205件	1 位 放火 30件 (放火の疑いを含む) 2 位 たばこ 19件 2 位 こんろ 19件	静岡市 31,360件 島田市 3,461件 牧之原市 1,665件 吉田町 867件 川根本町 433件 行政管轄外 52件 計 37,838件	静岡市 337件 島田市 53件 牧之原市 43件 吉田町 17件 川根本町 15件 行政管轄外 22件 計 487件
予防・広報	 防火対象物数	 危険物施設数	 消防訓練	 消防音楽隊
	静岡市 24,800件 島田市 2,802件 牧之原市 1,965件 吉田町 1,067件 川根本町 286件 計 30,920件 (令和3年3月31日現在)	静岡市 2,051件 島田市 337件 牧之原市 301件 吉田町 243件 川根本町 60件 計 2,992件 (令和3年3月31日現在)	静岡市 197件 島田市 47件 牧之原市 15件 吉田町 16件 川根本町 5件 計 280件 (令和2年度実績)	隊員数 36人 出演回数 0回 訓練回数 19回 (出演及び訓練回数は、令和2年度実績)

※ 災害の状況については、令和2年中の件数を示す。

静岡消防のあゆみ

M22. 4	静岡市消防組規則及び消防組諸給与規定を公布し、公設静岡市消防組が創設された。
M27. 2	消防組規則（勅令第 15 号）公布
M37. 11	静岡警察署屋上に火の見所を設け、警鐘をもって出火を周知し、静岡市常備消防の起源となった。
T12. 2	辻・江尻・入江・清水・不二身・三保 6 ケ町村の消防組役員が清見潟消防連盟規約を議定した。（清水市）
S 3	現下清水町に清水市消防の前身である清水市消防組常設部が設置された。
4. 1	静岡市常備消防部が設置された。
S 7. 4	近隣 8 ケ村が合併し、静岡市域の拡張があり、静岡市消防組も 22 部に増大した。
S 8. 4. 1	静岡市常設消防部が設置された。
6. 23	宮ヶ崎出張所を移転し、北番町出張所を開所した。（静岡市）
10. 31	駒形通一丁目第 2 部出張所を移転し、森下出張所を開所した。（静岡市）
S10. 7. 11	地震のため大谷、高松、小鹿方面に被害。死者 8 人、家屋全半壊 1,649 戸。
8	静岡市常設消防本部を追手町 39 番地の 1 に開庁した。
S11. 10. 15	静岡市弥勒三丁目 22 番地の 4 に、安倍川出張所を開所した。
S14	警防団令発布により清水市消防組と清水市警防団を解散、警防団が結成した。
4. 1	静岡市消防組は発展的に解消、警防団に改組設置した。
S15. 1. 15	静岡大火（全焼 5,170 戸、半焼 99 戸、死者 4 人、負傷者 778 人、被災者 28,152 人）
10	静岡市音羽町清水公園内に清水出張所を開所した。
S17. 1	静岡市用宗に常備消防部用宗分遣所を開所した。
S19. 10	戦争の激化により、用宗分遣所を一時閉鎖した。（静岡市）
S20. 6. 20	空襲により、静岡市内 221 町、焼失 25,239 戸、全半壊 1,483 戸、死者 1,873 人、重傷者 830 人、罹災者 118,746 人を出し、市の大半が焼土と化した。
S22	消防組織法の公布により、警防団令が廃止された。
10. 31	警防団を廃止した。（静岡市）
11. 1	静岡市消防団を組織した。
S23	消防組織法の公布により、清水市消防組織を改革。警防団を解散し、消防団を発足した。
S24. 4. 1	消防組織法に基づき、消防本部を創設。消防団常備消防部を廃止し、消防署を設置した。（静岡市）
5. 24	静岡市緑町官有無番地に消防署城東出張所を開所し、消防署清水出張所を廃止した。
5. 29	静岡市大谷 2255 番地の 4 に消防署大谷分遣所を開所した。
6. 2	静岡市曲金三丁目 57 番地に消防署曲金分遣所を開所した。
12. 2	静岡市安西五丁目 114 番地に消防署安西出張所を開所した。
S25	消防組織法に基づき、清水市消防本部・消防署が職員 31 人、ポンプ車・タンク車各 1 台をもって誕生した。
6. 1	昭和 19 年 10 月から閉鎖中の消防署用宗分遣所を再開した。（静岡市）
S27. 12	消防署曲金分遣所を増築、出張所に昇格した。（静岡市）
S29	飯田・高部 2 個村合併により、消防団 12 個分団とした。また市庁舎の落成により、市庁舎へ消防本部・署が移転した。（清水市）
10. 23	静岡市古庄 563 番地の 5 に消防署上土分遣所を開所した。
12. 27	静岡市水道町官有無番地に消防署水道出張所を開所した。
S30. 6. 1	安倍郡の 4 ケ村（服織、南藁科、中藁科、美和）の各村が静岡市に合併された。
S32. 2. 28	午後 6 時 50 分頃、静岡市牛妻 3241 番地より出火した火災は、西風にあおられ、焼失面積 10,698 m ² 、焼失棟数 188 棟、山林 2,519 アール、焼失世帯 109 世帯、罹災人員 519 人（死者 1 人）、損害額 169,072,500 円の大火となった。
S33. 2. 18	静岡市馬淵六丁目 78 番地の 3 に第 10 分団と併設の消防署馬淵出張所を開所した。これに伴い消防署八幡出張所を廃止した。

S33. 11. 1	静岡市新富町五丁目 1 番地に、第 3 分団併設の消防署新富出張所を開所し、消防署安西・安倍川出張所を分遣所として消防体制を強化した。
S36. 11. 1	昭和 33 年に廃止した消防署八幡出張所を分遣所として従前の位置に再開した。(静岡市)
S37	清水市有度地区に有度出張所を開所した。
1. 11	消防本部及び署庁舎を竣工し、開庁した。(静岡市)
S38	清水市三保地区に消防署三保出張所を開所した。
9	消防法の改正により救急業務を開始した。(清水市)
S39	清水市興津地区に消防署興津出張所を開所した。
4. 1	消防法の改正により、救急業務が消防に義務付けられたため、救急車 1 台、隊員 7 人により業務を開始した。(静岡市)
S40	消防庁舎落成、消防本部・消防署・団本部が市庁舎より移転した。(清水市)
2. 1	消防署安倍川分遣所を改築開所した。(静岡市)
S42	清水市江尻地区に消防署江尻出張所を開所した。
2. 8	静岡市駒形通一丁目 2-12 キャバレー「グランドマル」の火災現場において、消防職員 1 名が殉職し、2 月 20 日城内小学校において消防葬を執行した。
S44. 1. 1	安倍郡の 6 ケ村(大河内、梅ヶ島、玉川、井川、清沢、大川)が静岡市と合併した。
S46	消防職員待機宿舎[20 戸]を建設した。(清水市)
6. 26	消防署城東出張所を改築開所した。(静岡市)
8. 1	静岡市中田 1273 番地の 1 に南消防署庁舎が竣工し、開署した。
S47	清水市南消防署を開署した。従前の消防署を清水市中央消防署に改称した。
S49. 1. 19	公務中に病死した消防職員の消防葬を城内小学校において執行した。(静岡市)
3. 30	静岡市鎌田 54 番地の 3 に中央消防署鎌田出張所を新設開所した。
6. 29	南消防署曲金出張所を改築開所した。(静岡市)
7. 7	7 月 7 日から 8 日にかけて、台風 8 号及び梅雨前線による集中豪雨のため、静岡市において死者 23 人、負傷者 28 人、被害家屋 22,982 戸、被害総額 39,783,173,000 円、清水市において死者 4 人、被害総額 25,300,000,000 円にのぼる未曾有の水害が発生した。
S50. 3. 29	静岡市瀬名 552 番地に中央消防署瀬名出張所を開所した。
〃	静岡市水上 28 番地の 10 に南消防署大谷出張所を開所した。
S54	清水市東消防署を開署した。従前の清水市中央消防署を清水市中消防署に改称した。
4. 1	静岡市東消防署を開署した。これに伴い、中央消防署上土出張所を廃止した。
7. 11	18 時 40 分頃、東名高速道路日本坂トンネル下り線 169.1 キロポスト付近で車両衝突事故により火災が発生。車両 189 台が焼損し、死者 7 人、傷者 2 人、損害額 840,728,000 円の大火災となった。(静岡市)
S55. 8. 16	9 時 30 分頃、静岡市紺屋町ゴールデン地下街において、ガス爆発が発生。消防隊による人命検索、避難誘導その他一連の消防活動中、9 時 56 分に第 2 次爆発が発生し、死者 15 人(消防職員 4 人、団員 1 人、その他 10 人)、重軽傷者 222 人、焼失面積 1,732.49 m ² という大惨事が発生、同日 15 時 30 分に鎮火した。この火災現場において、殉職した消防職員 4 人及び消防団員 1 人の消防葬を 9 月 14 日、静岡市民文化会館において執行した。
S56. 3. 23	消防本部、中央消防署庁舎を開庁した。(静岡市)
4. 1	中央消防署安西出張所を移転、中央消防署山崎出張所を開所した。(静岡市)
S58. 4. 1	中央消防署水道出張所を移転、中央消防署平和出張所を開所した。(静岡市)
〃	清水市役所庁舎落成、消防本部が 7 階に移転した。
S60. 2. 1	南消防署馬淵出張所及び同八幡救急隊派遣所を廃止、南消防署稲川出張所を開所した。(静岡市)
S62. 2. 2	中央消防署新富出張所及び安倍川出張所を廃止、中央消防署南田町出張所を開所した。(静岡市)
S63. 3. 10	有度出張所、消防団第 12 分団併設庁舎を開所した。(清水市)
4. 1	消防音楽隊を隊長以下 40 人で発足した。(静岡市)
H 3. 4. 1	消防山岳警備隊を隊長以下 15 人で発足した。(静岡市)

H 3. 6	消防音楽隊を発足した。(清水市)
12	興津出張所を移転、開所した。(清水市)
H 4. 3	中消防署西分署を開署した。(清水市)
H 5. 7. 19	水難救助隊が発足、南消防署用宗出張所に配置した。(静岡市)
H 6. 3	消防緊急情報システムを導入した。(清水市)
9	南消防署三保出張所・消防団第 7 分団併設庁舎を開所した。(清水市)
H 7. 3. 22	消防総合情報システム指令系を導入した。(静岡市)
H 8. 1. 25	消防総合情報システム支援系を導入した。(静岡市)
H11. 10. 1	南消防署曲金出張所を廃止、南消防署東豊田出張所を開所した。(静岡市)
H14. 4. 1	中消防署を新築移転、江尻出張所と統合し開署した。(清水市)
H15. 4. 1	静岡市、清水市が合併し、新「静岡市」が誕生した。これに伴い、静岡市消防本部が新たに発足した。追手町消防署井川出張所を開所した。
H16. 4. 1	消防本部の機構改革に伴い、救急救助課、査察課を設置した。また、清水支部を廃止、清水分室を開室した。
H17. 4. 1	全国 14 番目の政令指定都市「静岡市」が誕生。機構改正を行い、市長部局から防災部門を統合し、静岡市消防防災局と名称変更した。
H18. 3. 31	静岡市と蒲原町が合併した。これに伴い、旧蒲原町における消防業務は庵原地区消防組合に委託した。
4. 1	消防防災局の機構改正により、救急救助課を救急課とした。
11. 1	消防総合情報システムを導入した。
H19. 4. 1	消防防災局の機構改正により、調整室を設置した。また、湾岸消防署小島出張所を開所した。
H20. 4. 1	静岡市消防航空隊が隊長以下 9 人で発足した。また、特別高度救助隊が隊長以下 15 人で発足し、追手町消防署南田町出張所に配置された。
〃	静岡・清水・蒲原の消防団を統一し、静岡市消防団を結成した。
11. 1	静岡市と由比町が合併した。庵原地区消防組合の解散に伴い、湾岸消防署庵原分署を開署した。
H21. 2. 11	追手町消防署井川出張所を新築移転した。
4. 1	消防防災局の機構改正により、警防課清水分室を廃止した。
4. 30	昭和 47 年に建築された日本平消防署管理棟の建替えが完了した。
H22. 3. 18	日本平消防署車庫棟の建替えが完了した。
4. 1	静岡市の組織機構改正により「静岡市消防防災局」を「静岡市消防局」に名称変更し、消防本部機能に特化させ、消防部を「消防部」(消防総務課、予防課、査察課)と「警防部」(警防課、救急課、指令課、航空課)に分け、二部制とした。防災部門は市長部局に移管された。
H23. 3. 11	14 時 46 分頃、三陸沖を震源としたマグニチュード 9.0 の日本国内観測史上最大の地震、「東北地方太平洋沖地震」が発生。緊急消防援助隊静岡県隊として、陸上部隊延べ 100 隊・445 人(22 日間)が福島県へ、航空部隊延べ 14 隊・89 人(14 日間)が岩手県へ出動した。
H24. 4. 1	千代田消防署しずはた出張所を開所した。
H25. 10. 16	台風 26 号の影響により、東京都伊豆大島において大規模土砂災害が発生。24 時間雨量は 824 ミリに達し、死者 36 人、行方不明者 3 人を出すなど甚大な被害をもたらした。緊急消防援助隊として静岡市消防局から陸上部隊延べ 9 隊・34 人(16 日間)が出動し、被災地での救助、捜索活動を行った。
H26. 9. 27	御嶽山噴火災害が発生。死者 57 人、負傷者 59 人、行方不明者 6 人を出すなど甚大な被害をもたらした。緊急消防援助隊として、長野県木曽郡木曽町・王滝村に、静岡市消防局から陸上部隊延べ 24 隊・97 人(延べ 20 日間)が出動し、被災地において救助・捜索活動を行った。
H27. 11. 24	追手町消防署、石田消防署の名称を葵消防署、駿河消防署にそれぞれ改めた。 消防本部・駿河消防署庁舎の供用開始に伴い、消防本部の位置を静岡市駿河区南八幡町 10 番 30 号に改めた。

H28. 3. 28	静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町の首長により、消防事務の委託に関する協議書・規約が締結された。
H28. 4. 1	静岡市は、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町の消防団及び消防水利を除く消防事務を受託し、3市2町による消防広域化を実現した。 島田消防署、牧之原消防署、吉田消防署を新たに加え、かつ、財産管理課を新たに設置した。これにより、消防局の組織は、1局2部8課9消防署1分署23出張所、職員条例定数が1,039人となった。
H30. 3. 1	湾岸消防署を清水区庵原町に移転し、名称を「港北消防署」と改めて開署した。
R 2. 4. 1	清水消防署に清水第2救急隊（日勤救急隊）を発足した。
R 2. 7. 5	1時34分覚知の吉田町川尻地内大規模倉庫火災において、消防隊による一連の消防活動中、2時7分頃に爆発が発生、消防職員3人、警察官1人が殉職、負傷者3人、焼損面積6,856.95㎡という大惨事となり、翌6日7時15分に鎮火した。この火災現場において、殉職した消防職員3人の消防葬を8月27日、静岡市民文化会館において執行した。
R 3. 2. 5	昭和54年に建築された千代田消防署の大規模改修工事を完了した。
R 3. 4. 1	消防局の機構改正により、警防課災害対策係を同課「災害機動支援・部隊管理室」に改めた。

静岡市の概況

静岡市は、静岡県を中心に位置し南に日本最深の駿河湾、北に3,000m級の山々が連なる南アルプスを配し、豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、独自の文化や産業を育み、日本の中枢都市として発展を続けています。

また、東西南北をつなぐ交通の軸である、東名高速道路、新東名高速道路、中部横断自動車道、さらには国際貿易と遠洋漁業の基地である「清水港」などの大規模な社会資本が充実しており、様々な中枢管理機能が集積した都市としての性格も併せ持っています。

平成17年4月1日に全国14番目の政令指定都市に移行し、平成18年3月31日には蒲原町と、平成20年11月1日には由比町と合併しました。

「第3次静岡市総合計画」に持続可能な開発目標「SDG s」を組み込み、市民への普及啓発や積極的な発信など、今後も、世界が求める「SDG s」の達成に向け貢献していくことを通して、世界における本市の存在感を確立し、「世界に輝く静岡」の実現を確たるものにしていきます。

市政施行	平成15年4月1日
人 口	692,374人
世 帯 数	313,857世帯
市域面積	1,411.83k㎡
市 の 木	ハナミズキ
市 の 鳥	カワセミ
市 の 花	タチアオイ

※人口及び世帯数は、令和3年4月1日現在の
住民基本台帳及び外国人登録の合計

※平成15年4月1日、旧静岡市と旧清水市が
合併し、新たな静岡市が誕生



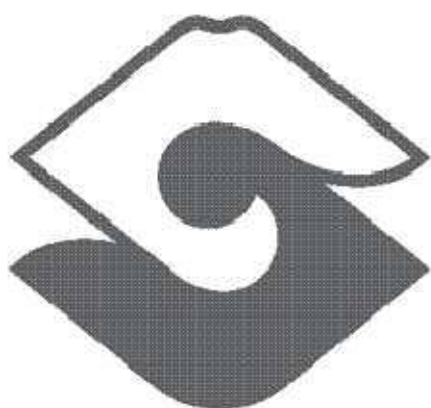
市面積、世帯数、人口の推移

(各年4月1日)

	面積 (k m ²)	世 帯 数	人 口
平成 29 年度	1, 411. 90	311, 784	707, 173
平成 30 年度	1, 411. 90	314, 077	704, 043
令和元年度	1, 411. 83	315, 971	699, 946
令和 2 年度	1, 411. 83	311, 827	696, 367
令和 3 年度	1, 411. 83	313, 857	692, 374
葵 区	1, 073. 75	115, 058	250, 944
駿河区	73. 06	95, 899	209, 168
清水区	265. 02	102, 900	232, 262

(人口及び世帯数は住民基本台帳及び外国人登録の合計)

市 章



市章デザインの原案は、全国から寄せられた 6,774 件のデザインの中から、市民投票を経て、決定したものです。

このマークは、静岡・清水、そして新「静岡市」の頭文字「S」を発想の基本に、自然と都市機能が見事に調和した豊かな都市イメージを表現しています。

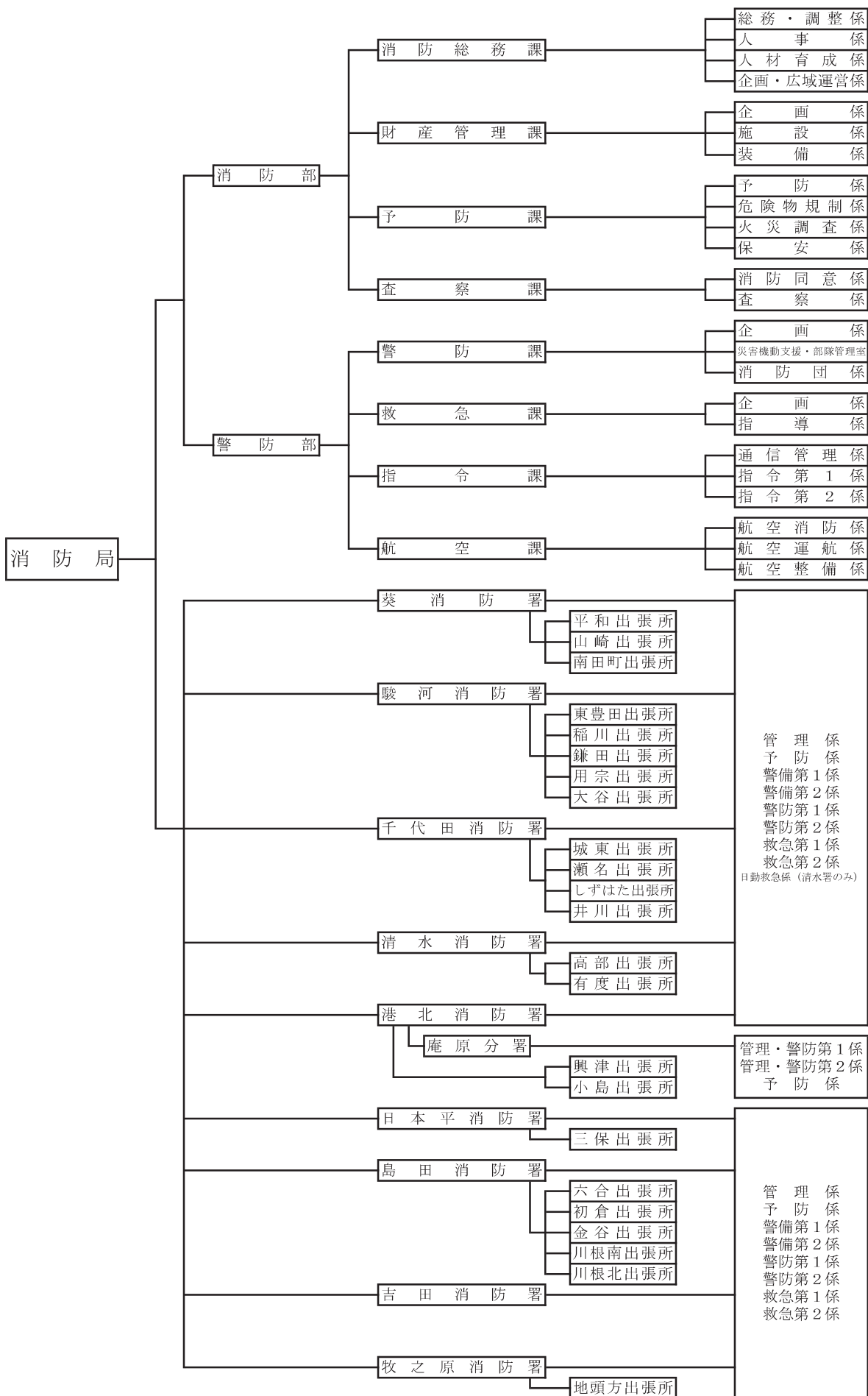
日本のシンボルである富士山と駿河湾の波のシンプルな造形が、活力あふれる未来、交流・連帯を基盤に飛躍する新しい都市、広がる市民の豊かな暮らしを感じさせます。

シンボルカラーの「ブルー」(スマルト)は、清潔感と透明性を表し、空や海のようにどこまでも続く国際性、開放性を表現しています。

消 防 局 組 織 図

(1局2部8課9署1分署23出張所)

(令和3年4月1日現在)



消 防 庁 舎 状 況

(令和3年4月1日現在)

名 称		所 在 地	建設年月	構 造	敷地面積㎡	延べ面積㎡
消 防 局		駿河区南八幡町10番30号	H27. 3	鉄骨鉄筋コンクリート造 6階建て	8, 818. 64	7, 455. 59
葵消防署	葵 消 防 署 本	葵区駿府町 2 番93号	R2. 11. 30	鉄骨造 2階建	2, 209. 40	705. 30
	平 和 出 張 所	葵区平和一丁目3番58号	S58. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	520. 60	387. 01
	山 崎 出 張 所	葵区山崎二丁目3番地の8	S56. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	730. 59	367. 75
	南田町出張所	葵区南田町1番1号	S61. 12	鉄骨造 2階建	561. 81	473. 45
駿河消防署	駿 河 消 防 署 本	消防局庁舎と同一				
	東 豊 田 出 張 所	駿河区聖一色206番地の3	H11. 9	鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建	1, 884. 74	1, 292. 15
	稲 川 出 張 所	駿河区稲川一丁目5番12号	S59. 12	鉄骨造 2階建	563. 53	578. 80
	鎌 田 出 張 所	駿河区鎌田54番地の4	S49. 3	鉄筋コンクリート造 2階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	1, 079. 53	436. 55
	用 宗 出 張 所	駿河区用宗二丁目7番5号	S38. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	645. 67	293. 65
	大 谷 出 張 所	駿河区水上28番地の10	S50. 3	鉄筋コンクリート造 2階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	729. 68	319. 13
千代田消防署	千 代 田 消 防 署 本	葵区東千代田二丁目1番10号	S54. 3	鉄筋コンクリート造 3階建 3階一部鉄骨造	1, 984. 03	1, 441. 45
	城 東 出 張 所	葵区城東町55番10号	S46. 6	鉄筋コンクリート造 2階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	854. 01	414. 30
	瀬 名 出 張 所	葵区瀬名一丁目19番11号	S50. 3	鉄筋コンクリート造 2階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	975. 00	321. 18
	しずはた出張所	葵区下94番地の1	H24. 3	鉄骨造 2階建	1, 000. 00	736. 06
	井 川 出 張 所	葵区井川994番地の1	H20. 12	鉄骨造 2階建	1, 202. 06	264. 46
清水消防署	清 水 消 防 署 本	清水区東大曲町6番8号	H14. 3	鉄筋コンクリート 3階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	1, 792. 84	1, 540. 90
	高 部 出 張 所	清水区押切1587番地	H4. 3	鉄骨造 2階建	661. 00	383. 49
	有 度 出 張 所	清水区吉川507番地の1	S63. 3	鉄骨造 3階建	712. 25	495. 56
港北消防署	港 北 消 防 署 本	清水区庵原町592番地の8	H30. 3	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造 2階建	2, 440. 09	1, 981. 94
	庵 原 分 署	清水区由比716番地の1	H10. 4	鉄筋コンクリート造 3階建 3階一部鉄骨造	2, 649. 58	2, 418. 00
	興 津 出 張 所	清水区八木間町409番地の2	H3. 12	鉄骨造 2階建	654. 00	270. 14
	小 島 出 張 所	清水区小河内3445番地の1	H19. 3	鉄骨造 2階建	801. 14	431. 64
日本平消防署	日 本 平 消 防 署 本	清水区村松625番地の4	H22. 3	鉄骨造 2階建 車庫倉庫鉄骨平屋建	1, 255. 00	688. 77
	三 保 出 張 所	清水区三保3503番地の47	H6. 9	鉄骨造 4階建	359. 00	699. 28
島田消防署	島 田 消 防 署 本	島田市旗指513番地の1	H5. 3	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階	3, 658. 45	3, 505. 63
	六 合 出 張 所	島田市道悦二丁目29番15号	H13. 11	鉄骨造 2階建	1, 009. 92	443. 27
	初 倉 出 張 所	島田市阪本1526番地の4	S55. 3	鉄骨造 2階建	911. 80	337. 50
	金 谷 出 張 所	島田市島863番地の1	H6. 4	鉄筋コンクリート造 2階建	2, 304. 90	1, 247. 19
	川 根 南 出 張 所	島田市川根町身成3481番地の1	H11. 9	鉄骨造 2階建	2, 077. 73	537. 50
	川 根 北 出 張 所	榛原郡川根本町元藤川2番地の4	H9. 9	鉄骨造 2階建	1, 193. 03	532. 99
吉田消防署	吉 田 消 防 署 本	榛原郡吉田町住吉1386番地の5	S62. 3	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建	5, 572. 16	1, 728. 00
牧之原消防署	牧 之 原 消 防 署 本	牧之原市波津191番地1	H25. 4	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造 2階建	14, 628. 73	2, 374. 23
	地 頭 方 出 張 所	牧之原市新庄340番地2	H28. 4	鉄骨造 2階建	1, 422. 00	426. 45
航空課	格 納 庫	葵区諏訪8番地の10 (静岡ヘリポート)	H20. 3	鉄骨造 2階建	300. 00	734. 98
	燃 料 備 蓄 貯 蔵 庫	葵区諏訪8番地の10 (静岡ヘリポート)	H29. 3	鉄骨造 平屋建	302. 00	86. 10
曲金消防資機材倉庫		駿河区曲金二丁目3番10号	S49. 6	鉄筋コンクリート造 3階建	403. 29	510. 18
川合消防資機材倉庫		葵区川合691番地	S58. 9	鉄骨造 平屋建	128. 00	71. 50

静岡消防の概況

予

防

警

防

救

急

指

令

火災・救助統計

静岡市消防団

消防局・消防署位置図





所 掌 事 務

消 防 部

消防総務課

- (1) 組織及び職務権限に関すること。
- (2) 文書の收受、発送及び保管に関すること。
- (3) 所管に係る情報公開及び個人情報保護に関すること。
- (4) 公印に関すること（局専用市長印の管理を含む。）。
- (5) 儀礼及び交際に関すること。
- (6) 消防審議会に関すること。
- (7) 消防職員委員会に関すること。
- (8) 消防音楽隊に関すること。
- (9) 職員の任免、服務、給与、研修、福利厚生等に関すること。
- (10) 職員の配置に関すること。
- (11) 表彰に関すること。
- (12) 公務災害補償等に関すること。
- (13) 消防に係る政策の企画及び総合調整に関すること。
- (14) 条例、規則その他例規の制定及び改廃に関すること。
- (15) 広報及び広聴に関すること。
- (16) 消防長会に関すること。
- (17) 局の予算及び決算に関すること。
- (18) 消防事務の受託に関すること。
- (19) 各消防署との総合調整に関すること。
- (20) 局の危機管理に関すること。
- (21) 局の政策法務の推進に関すること。
- (22) 部の庶務に関すること。

財産管理課

- (1) 消防施設等（水利施設を除く。以下同じ。）の効率的な資産管理の推進に関わる企画及び調整に関すること。
- (2) 財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (3) 消防施設等に関すること。
- (4) 物品の購入、修理及び処分に関すること。
- (5) 消防車両及び機器の整備及び管理に関すること。
- (6) 安全運転管理に関すること。
- (7) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

予 防 課

- (1) 火災予防に係る施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 火災予防に係る指導及び広報に関すること。
- (3) 防火管理者及び防災管理者の指導育成に関すること。

- (4) 防火協力団体の指導育成に関すること。
- (5) 危険物施設等の規制に関すること。
- (6) 危険物施設等の査察（大規模なもの及び特異なものに限る。）及び違反処理に関すること。
- (7) 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- (8) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (9) 石油コンビナート等災害防止法（昭和 50 年法律第 84 号）に関すること。
- (10) 火災調査等に関すること（大規模なもの及び特異なものに限る。）。
- (11) 火災原因及び火災損害の調査のとりまとめに関すること。
- (12) 火災調査技術の研究及び指導に関すること。
- (13) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）に関すること。
- (14) 高圧ガス保安法（昭和 26 年法律第 204 号）に関すること。
- (15) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和 24 年法律第 149 号）に関すること。
- (16) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

査 察 課

- (1) 査察に係る施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 査察計画及び技術に関すること。
- (3) 違反消防対象物の処理に関すること。
- (4) 防火対象物点検資格者の指導育成に関すること。
- (5) 建築確認の同意に関すること。
- (6) 消防用設備等に関すること（大規模建築物に限る。）。
- (7) 消防設備士の指導育成に関すること。
- (8) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

警 防 部

警 防 課

- (1) 警防に係る施策(救急に係る事項を除く。)の企画及び調整に関すること。
- (2) 水火災又は地震等の災害に係る施策に関すること。
- (3) 救助業務の計画及び調査に関すること。
- (4) 消防水利及び地理に関すること。
- (5) 機関員の養成及び技能管理に関すること。
- (6) 警防業務（救急を除く。以下同じ。）の安全管理対策及び活動支援に関すること。
- (7) 警防業務に係る職員の能力及び知識の向上並びに育成に関すること。
- (8) 広域消防相互応援等に関すること。
- (9) 特殊災害に関すること。
- (10) 消防団員の公務災害補償に関すること。
- (11) 静岡県消防協会静岡支部に関すること。
- (12) 消防団に関すること。
- (13) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。
- (14) 部の庶務に関すること。

救 急 課

- (1) 救急に係る施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 救急業務の計画及び調査に関すること。
- (3) 応急手当の指導及び普及啓発に関すること。
- (4) 民間による患者等搬送事業に係る指導に関すること。
- (5) 救急業務の衛生管理及び安全管理に関すること。
- (6) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

指 令 課

- (1) 通信指令に係る施策の企画及び調整に関すること。
- (2) 通信施設等に関すること。
- (3) 消防総合情報システムに関すること。
- (4) 消防通信に関すること。
- (5) 災害発生通報の受付に関すること。
- (6) 出動指令に関すること。
- (7) 火災警報等及び消防情報の収集及び伝達に関すること。
- (8) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

航 空 課

- (1) 航空業務計画に関すること。
- (2) 回転翼航空機による消防業務に関すること。
- (3) 回転翼航空機による航空業務に関すること。
- (4) 回転翼航空機による広域応援に関すること。
- (5) 回転翼航空機の運航、整備及び管理に関すること。
- (6) 所管に係る事務についての各消防署との総合調整に関すること。

消 防 署

○ 管理係

- (1) 文書の収受、発送及び保管に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 署員の教養、福利厚生及び安全衛生に関すること。
- (4) 表彰に関すること。
- (5) 庁舎及び備品の管理に関すること。
- (6) 安全運転管理に関すること。
- (7) 署の庶務に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、他の係の所管に属しないこと。

○ 予防係

- (1) 火災の予防対策に関すること。
- (2) 消防対象物等の査察に関すること。
- (3) 危険物施設等の査察（大規模なもの及び特異なものを除く。）に関すること。
- (4) 消防用設備等に関すること。

- (5) 防火団体等の指導育成に関すること。
- (6) 煙火の消費に係る許可及び消費場所への立入検査等に関すること。
- (7) 高圧ガスの消費に係る立入検査等に関すること。
- (8) 液化石油ガス設備工事の届出の受付に関すること。
- (9) 液化石油ガス器具等の販売の事業に係る立入検査等に関すること。
- (10) ガス用品の販売の事業に係る立入検査等に関すること。
- (11) 自衛消防組織等の訓練指導に関すること。

○ 警備第1係及び警備第2係

- (1) 火災その他災害の調査に関すること。
- (2) 通信施設等の保守及び管理に関すること。
- (3) 消防の車両及び装備品の点検整備に関すること。
- (4) 安全運転管理に関すること。

○ 警防第1係及び警防第2係

- (1) 水火災等の警防計画に関すること。
- (2) 消防隊の運用及び訓練に関すること。
- (3) 消防水利及び地理に関すること。
- (4) 自主防災組織等の消防訓練指導に関すること。
- (5) 救助に関すること。

○ 救急第1係、救急第2係及び日勤救急係

- (1) 救急に関すること。
- (2) 応急手当の普及啓発に関すること。

分 署

○ 管理・警防第1係、管理・警防第2係

- (1) 分署員の教養、福利厚生及び安全衛生に関すること。
- (2) 庁舎の管理に関すること。
- (3) 分署の庶務に関すること。
- (4) 消防の車両及び装備品の点検整備に関すること。
- (5) 火災等災害活動に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、他の係の所管に属しないこと。

○ 予防係

- (1) 消防対象物等の査察に関すること（消防長の定めるものに限る。）。
- (2) 液化石油ガス器具等の販売の事業に係る立入検査等に関すること。
- (3) ガス用品の販売の事業に係る立入検査等に関すること。
- (4) 火災予防の届出の受付に関すること。
- (5) 自衛消防組織等の訓練指導に関すること。

出張所

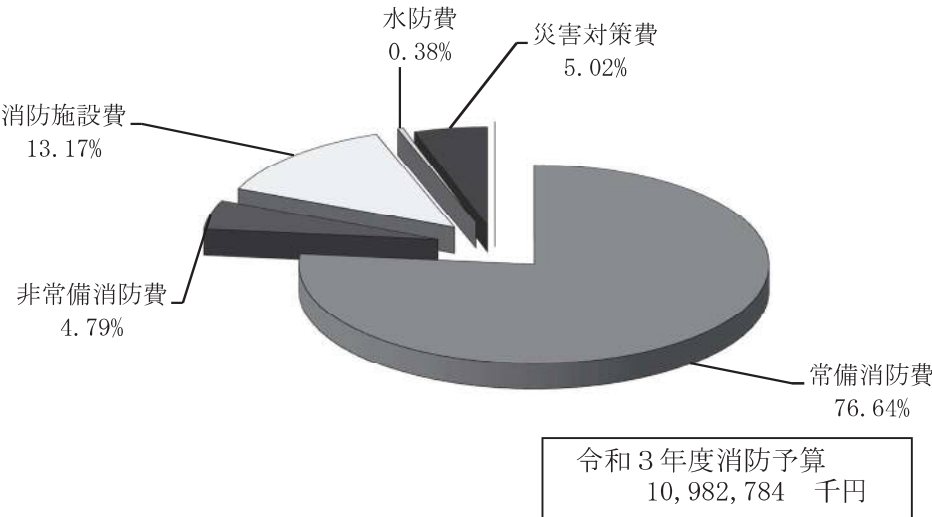
- (1) 火災等災害活動に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、管内の消防に関すること。

静岡市予算と消防予算

(各年度4月1日)

(年度)	市一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	割合 (%)	常備消防費 (千円)	非常備消防費 (千円)	消防施設費 (千円)	水防費 (千円)	災害対策費 (千円)	緊急地震・津波 対策推進基金費 (千円)
令和 3年度	329,700,000	10,982,784	3.3	8,417,552	525,565	1,446,303	42,246	551,118	
令和 2年度	325,300,000	11,373,708	3.5	8,946,683	554,930	1,133,851	44,277	693,967	
令和 元年度	318,000,000	10,642,998	3.3	8,278,362	544,145	1,054,782	44,749	720,960	

令和3年度消防予算の構成比



消防予算と管轄人口、世帯の割合

(令和3年4月1日現在)

消 防 予 算 (千円)	管 轄 人 口		世 帯	
	人 口	1人あたり (円)	世 帯 数	1世帯あたり (円)
10,982,784	870,198	12,621	380,772	28,843

消防職員現況

(令和3年4月1日現在)

消防職員現況	合 計	消 防 司 監	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	その他の 職員	再 (短 任時 間) 用
消防職員数	1,034 (43)	1	9	17	49	215 (3)	270 (7)	330 (14)	1	139 (18)	3 (1)	33
消防局長	1	1										
消防次長	1		1									
消防局理事	1										1	
消防部	52 (3)		2	4	6	19	12 (1)	7 (1)			2 (1)	4
消防部長	1		1									
予防担当部長	1		1									
消防総務課	17 (2)			1	3	8	3 (1)	1			1 (1)	2
財産管理課	11			1	1	3	3	2			1	1
予防課	13 (1)			1	1	5	3	3 (1)				1
査察課	9			1	1	3	3	1				
警防部	70 (3)		2	4	7	22	19 (1)	16 (2)				5
警防部長	1		1									
救急担当部長	1		1									
警防部参与	1			1								
警防課	17			1	2	6	4	4				
救急課	7				1	2	2	2				2
指令課	32 (3)			1	3	8	10 (1)	10 (2)				2
航空課	11			1	1	6	3					1
葵消防署	122		1	1	4	22	30	44	1	19		3
葵本署	62		1	1	4	12	18	19		7		3
平和出張所	12					2	2	6		2		
山崎出張所	20					4	4	9	1	2		
南田町出張所	28					4	6	10		8		
駿河消防署	161 (8)		1	1	4	31 (1)	42	56 (2)		26 (5)		5
駿河本署	65 (3)		1	1	4	13 (1)	19	22		5 (2)		1
東豊田出張所	26 (4)					4	7	8 (2)		7 (2)		
稲川出張所	20 (1)					4	4	8		4 (1)		
鎌田出張所	20					4	6	6		4		
用宗出張所	18					4	4	8		2		4
大谷出張所	12					2	2	4		4		
千代田消防署	131 (6)			1	5	25	33 (1)	44 (2)		23 (3)		4
千代田本署	64 (5)			1	5	11	17 (1)	20 (1)		10 (3)		3
城東出張所	20					4	4	7		5		
瀬名出張所	12					2	2	5		3		
しずはた出張所	27 (1)					6	6	10 (1)		5		1
井川出張所	8					2	4	2				
清水消防署	98 (7)		1	1	4	19 (1)	25 (3)	36 (1)		12 (2)		7
清水本署	67 (7)		1	1	4	14 (1)	18 (3)	23 (1)		6 (2)		7
高部出張所	19					3	5	8		3		
有度出張所	12					2	2	5		3		
港北消防署	106 (6)			1	6	22 (1)	30 (1)	34 (2)		13 (2)		4
港北本署	50 (6)			1	5	11 (1)	14 (1)	13 (2)		6 (2)		
庵原分署	36			1		7	10	14		4		4
興津出張所	12					2	4	3		3		
小島出張所	8					2	2	4				
日本平消防署	53 (2)			1	2	9	14	19		8 (2)		1
日本平本署	41 (2)			1	2	7	12	13		6 (2)		1
三保出張所	12					2	2	6		2		
島田消防署	130 (3)		1	1	4	24	39	39 (2)		22 (1)		
島田本署	58 (3)		1	1	4	12	17	14 (2)		9 (1)		
六合出張所	12					2	4	4		2		
初倉出張所	12					2	4	4		2		
金谷出張所	20					4	6	6		4		
川根南出張所	12					2	4	5		1		
川根北出張所	16					2	4	6		4		
吉田消防署	59 (3)			1	5	13	14	19 (2)		7 (1)		
吉田本署	59 (3)			1	5	13	14	19 (2)		7 (1)		
牧之原消防署	49 (2)			1	2	9	12	16		9 (2)		
牧之原本署	41 (2)			1	2	7	10	12		9 (2)		
地頭方出張所	8					2	2	4				

条例定数 1,040人 実員 1,034人
 ※再任用フルタイム職員は実員に含む。
 ※再任用短時間勤務職員は実員に含まない。
 ※（ ）は内数で女性職員の人数を示す。

消防職員年齢・階級別現況

(令和3年4月1日現在)

区 分			階 級											
年 齢	構 成 比 %	総 数	消 防 司 監	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	階 消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	再（短 任 時 間） 用	
平均年齢		37.7	59.0	58.0	56.4	53.1	46.6	42.0	30.8	59.0	22.7	49.0	61.7	
計	100.0	1,034 (43)	1	9	17	49	215 (3)	270 (7)	330 (14)	1	139 (18)	3 (1)	33	
18	0.5	5 (1)									5 (1)			
19	1.4	14 (2)									14 (2)			
20	1.2	12 (1)									12 (1)			
21	1.1	11 (1)									11 (1)			
22	2.4	25 (2)									25 (2)			
23	1.9	20 (6)									20 (6)			
24	2.5	26 (3)									26 (3)			
25	2.4	25 (1)							16 (1)		9			
26	3.2	33							27		6			
27	4.1	42 (2)							38 (1)		4 (1)			
28	3.6	37 (3)							34 (3)		3			
29	3.9	40 (1)							40 (1)					
30	3.9	40 (2)						1	37 (2)		2			
31	3.4	35 (2)						8	26 (2)		1			
32	3.4	35 (3)						11	23 (2)		1 (1)			
33	3.9	40 (1)						17 (1)	23					
34	2.1	22						9	13					
35	2.8	29 (3)						11 (1)	18 (2)					
36	3.1	32 (1)					2	20 (1)	10					
37	2.4	25					5	17	3					
38	2.3	24					7	14	3					
39	1.8	19 (3)					3	14 (3)	2					
40	1.5	15					7	7	1					
41	1.9	20					7	13						
42	2.0	21					11	9	1					
43	2.8	29					15	11	3					
44	3.4	35					22	12	1					
45	3.3	34					15	15	3			1		
46	2.3	24					16	6	2					
47	3.1	32 (1)					21	10				1 (1)		
48	2.4	25					16	7	2					
49	2.9	30 (2)				5	13 (2)	12						
50	2.0	21				4	10	5	2					
51	1.8	19				7	8	4						
52	2.4	25 (1)				9	10	6 (1)						
53	2.0	21 (1)			3	5	6 (1)	6	1					
54	1.2	12		1	2	2	2	5						
55	1.7	18			1	5	8	3				1		
56	1.5	16		1	1	5	3	6						
57	1.3	13			4	5	2	2						
58	1.2	12		1	2	1	3	5						
59	1.9	20	1	6	3	1	3	4	1	1				
60	0.1	1			1								8	
61													7	
62													7	
63													8	
64													3	

※（ ）は内数で女性職員の人数を示す。

消防職員勤続年数・階級別現況

(令和3年4月1日現在)

区 分			階 級										
勤続年数	構成比 %	総数	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	再（短任時間用）
平均勤続年数		16.5	36.0	35.7	35.5	32.9	25.1	20.7	9.6	39.0	2.7	26.3	38.8
計	100.0	1,034 (43)	1	9	17	49	215 (3)	270 (7)	330 (14)	1	139 (18)	3 (1)	33
未満	2.4	25 (3)						1			24 (3)		
1	2.9	30 (8)									30 (8)		
2	2.1	22 (3)							3		19 (3)		
3	3.0	31 (2)					1		10 (1)		20 (1)		
4	2.7	28 (2)							13		15 (2)		
5	2.6	27 (1)							16 (1)		11		
6	4.4	45 (3)							30 (2)		15 (1)		
7	4.0	41 (1)						1	37 (1)		3		
8	5.5	57 (2)						6 (1)	51 (1)				
9	4.6	48 (1)						5	42 (1)		1		
10	3.7	38 (1)						14	23 (1)		1		
11	4.8	50 (3)						15 (1)	35 (2)				
12	3.1	32 (3)						15	17 (3)				
13	3.7	38					4	10	24				
14	1.9	20 (2)					2	13 (1)	5 (1)				
15	1.5	15 (1)					2	9 (1)	4				
16	1.8	19					6	10	3				
17	3.2	33 (1)					11	21 (1)	1				
18	1.9	20 (1)					8	12 (1)					
19	1.1	11					5	6					
20	1.5	16					8	7				1	
21	1.2	12					11	1					
22	1.1	11 (1)					9 (1)	2					
23	2.7	28 (1)					8	18	1			1 (1)	
24	3.2	33					20	11	2				
25	4.4	45					22	20	3				
26	1.9	20				2	14	3	1				
27	2.6	27				2	14	7	4				
28	2.2	23				2	12	9					1
29	2.2	23				2	13	8					
30	2.2	23				3	8	10	2				
31	2.0	21 (3)			2	5	8 (2)	6 (1)					
32	0.9	9		1	1	1	3	2	1				
33	2.1	22		1	2	8	6	5					1
34	2.2	23			2	10	7	4					
35	1.5	15		3	2	3	4	2	1				
36	1.5	15	1	2	3	5		3				1	1
37	1.4	14			1	4	4	5					2
38	0.2	2			1			1					
39	1.3	13		1		2	2	6	1	1			1
40	0.5	5		1	1		2	1					2
41	0.4	4			2		1	1					8
42													11
43													3
44													3
45													
46													

※（ ）は内数で女性職員の人数を示す。

職員採用試験実施状況

平成17年の政令市移行に伴い、人事委員会の所管となった後の静岡市消防局の職員採用試験実施状況を表したものです。

	区分	申込者数	第1次試験		第2次試験		採用者
			受験者	合格者	受験者	合格者	
平成29年度	大学卒	131 (7)	121 (7)	30 (5)	29 (5)	18 (2)	15 (1)
	短大卒	40 (6)	28 (3)	9 (2)	9 (2)	4	4
	高校卒	93 (4)	83 (3)	21 (1)	18 (1)	14 (1)	12 (1)
	合計	264 (17)	232 (13)	60 (8)	56 (8)	36 (3)	31 (2)
平成30年度	大学卒	123 (9)	101 (8)	27 (4)	26 (4)	13 (2)	11 (2)
	短大卒	24	22	18	7	2	2
	高校卒	81 (7)	66 (6)	21 (2)	18 (2)	11 (2)	10 (2)
	合計	228 (16)	189 (14)	66 (6)	51 (6)	26 (4)	23 (4)
令和元年度	大学卒	121 (8)	105 (8)	28 (6)	27 (6)	18 (6)	12 (5)
	短大卒	38 (4)	31 (3)	9 (1)	8 (1)	5 (1)	4 (1)
	高校卒	72 (9)	64 (9)	22 (4)	22 (4)	15 (2)	14 (2)
	合計	231 (21)	200 (20)	59 (11)	57 (11)	38 (9)	30 (8)
令和2年度	大学卒	102 (4)	92 (4)	26 (2)	26 (2)	17 (2)	15 (2)
	短大卒	24 (1)	19 (1)	8	7	3	2
	高校卒	72 (6)	64 (6)	19 (1)	18 (1)	9 (1)	7 (1)
	合計	198 (11)	175 (11)	53 (3)	51 (3)	29 (3)	24 (3)

※()は内数で女性数を示す。

消防車両等現況表

消防局（消防部・警防部・消防署）

自動車

（令和3年4月1日現在）

車 種	消防部 警防部	葵 消防署	駿 河 消防署	千代田 消防署	清 水 消防署	港 北 消防署	日本平 消防署	島 田 消防署	吉 田 消防署	牧之原 消防署	合 計
指 揮 車	1	2	2	1	2	2		2	2		14
水槽付消防ポンプ自動車 （消防ポンプ車含む）		5 (1)	8 (3)	6 (2)	4 (1)	6 (3)	3 (1)	6 (1)	2 (1)	2 (1)	42 (14)
化学消防ポンプ自動車		1	2 (1)	1		1	1	1	1	1	9 (1)
はしご付消防自動車 （消防ポンプ付含む）		1	2	1	1			1			6
救 助 工 作 車		1	2 (1)	1	1	1		1	1	1	9 (1)
特 別 高 度 工 作 車			1								1
特殊災害対応自動車			1								1
大型除染システム搭載車			1								1
重 機 搬 送 車					1						1
支 援 車（Ⅳ型）				1							1
拠 点 機 能 形 成 車	1										1
燃 料 補 給 車	1										1
大型放水砲搭載ホース延長車						1					1
大容量送水ポンプ車						1					1
大型高所放水車						1					1
大型化学消防ポンプ自動車						1					1
泡 原 液 搬 送 車						1					1
大 型 水 槽 車		1	1	2	1			1	1	1	8
照 明 電 源 車				1							1
空 気 充 填 車				1							1
資 機 材 搬 送 車		1	1		1			1	1	2	7
救 急 自 動 車		3 (1)	6 (1)	5 (1)	3 (1)	4 (1)	2 (1)	6	3 (1)	3 (1)	35 (8)
特殊災害支援車	1										1
特殊災害指揮支援車	1										1
指 揮 連 絡 車	7			1	1	1	1	6		3	20
地 震 体 験 車	1										1
広 報 車			1	1							2
連絡車（普通車）	3							2	1	2	8
連絡車（軽自動車）	3	1		1	1	1	1		1	1	10
合 計	19	16 (2)	28 (6)	23 (3)	16 (2)	21 (4)	8 (2)	27 (1)	13 (2)	16 (2)	187 (24)

※()内の数字は、内数で非常用の台数を表す。

その他

種 別	消防部 警防部	葵 消防署	駿 河 消防署	千代田 消防署	清 水 消防署	港 北 消防署	日本平 消防署	島 田 消防署	吉 田 消防署	牧之原 消防署	合 計
消 防 ヘリコプター	1										1
災害対策用二輪車		2	2	4	2	4	2				16
原 動 機 付 自 転 車	1	13	18	13	7	8	4		2		66
災害対応用重機					1						1
小型動力ポンプ（B-2・3）	6	5	6	3	1	1	1	1	2	1	27
小型動力ポンプ（C-1）		4	8	9	2	7	2	12	3		47
救 助 艇			1		1	1	1	2	1	1	8
水 上 オ ー ト バ イ			1								1
情報収集活動ドローン	1										1
合 計	9	24	36	29	14	21	10	15	8	2	168

予 防 警 防 救 急 指 令 火災・救助統計 静岡市消防団

– 24 –

資 機 材 等 の 配 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

			測定用			呼吸保護用		照明器具				放水用器具等														
用			可燃性ガス検知器	複合型ガス検知器	有毒ガス測定器	空気呼吸器	酸素呼吸器	防爆ライト	防水ライト	投光器	信号器付投光器	ホース		円盤型ストレーナ	高発泡器・高発泡装置	ラインプロポーション	泡消火ユニット	インパルス消火システム一式	ピックアップ式泡ノズル	可搬式放水銃	無反動管そう	プロジェットガン	消火水のうー式	泡薬液(ℓ)		
マツト型空気ジャッキ	携帯用削岩機	充電式鉄筋カッター									50	65														
											mm															
1	1	1	2	2		14		3	6	4		34	122		1	1	3			1	1	3	1	10	630	
1	1	1		2	1	11	4	4	8	2	3	17	82	1	1	1	1				1	1	6		80	
1	1	1		1		9		3	4	1	2	24	105	1	1	1	2				2	2	4	1,100		
1	1	1		1		4				1	1	14	53	1		1					1	1	5		140	
4	4	4	2	6	1	38	4	10	18	8	6	89	362	3	3	4	6			1	1	7	5	25	1,950	
1	1	1	3	4	1	20	4	7	15	5	4	27	157	1	1	3	3				5	3	11		660	
1	1	1		1		4		2	4	1	1	19	71	1	1	1	2				1	2	1	4	80	
1	1	1	2	2		6		3	4	2	2	12	69	1	1	1	5				2	1	1	4	980	
1	1	1		1		4		1	5	1	1	19	37		1	1	1				1	1	4		40	
1	1	1		1		4		1	2	1	1	19	75		1	1	1		1		1	1	8		240	
1		1		1		4		4		1	1	36	80	1	2	2	6	1			2		6		1,030	
6	5	6	5	10	1	42	4	18	30	11	10	132	489	4	7	9	18	1		1	3	12	7	37	3,030	
1	1	1	3	2	1	25	4	5	14	6	2	27	98		1	1	3				1	4	3	4	800	
1	1	1		1		8		1	2		3	20	83			1	1				1	1	4		140	
1	1	1		1		4		3	2	2	2	22	85	2	3	2	2				2		6		240	
			1	1		5		1	1	1	1	39	120		1	1	2				3	1	6		100	
3	3	3	4	5	1	42	4	10	19	9	8	108	386	2	5	5	8				1	10	5	20		1,280
1			3	2		21	4	1	5	2	3	25	114	1	2	2	1		1		1	2	2	4		320
1		1		1		4		2	2	1	1	25	46		1	1					1	1			60	
1		1		1		4		1	2	1	1	17	55								1				60	
3		2	3	4		29	4	4	9	4	5	67	215	1	3	3	1		1		1	4	3	4		440
1			1	2		23	4	3	2	3	1	26	133	1	1	1	7				3	2			7,030	
1			2	2		18			3	3	3	61	144	1		2	1			3	1	1	1	8	1,270	
1				1		4		1	2	1	1	15	48	1	1	1	1				1	1	5		60	
		1				4			2	1		8	14								2		3		60	
3		1	3	5		49	4	4	9	8	5	110	339	3	2	4	9			3	1	7	4	16	8,420	
1	1		3	2		13		2	5	2	2	45	130		2	2	5			2		3	1	8	1,100	
1				1		4		1	2	1	1	20	59								1					
2	1		3	3		17		3	7	3	3	65	189		2	2	5			2		4	1	8	1,100	
21	13	16	20	33	3	217	20	49	92	43	37	571	1,980	13	22	27	47	1	1	7	7	44	25	110	16,220	

静岡消防の概況

予

防

警

防

救

急

指

令

火災・救助統計

静岡市消防団

予
防
警
防
救
急
指
令
火災・救助統計
静岡消防の概況
静岡市消防団

— 26 —

材等の配置状況

(令和3年4月1日現在)

測定用			呼吸保護用		照明器具				放水用器具等													
可燃性ガス検知器	複合型ガス検知器	有毒ガス測定器	空気呼吸器	酸素呼吸器	防爆	防水	投光器	信号器	ホース		円盤型ストレナー	高発泡器・高発泡装置	ラインプロポーション	泡ノズル	泡消火ユニット	インパルス消火システム一式	ピックアップ式泡ノズル	可搬式放水銃	無反動管そう	プロジェットガン	消火水のう一式	泡薬液(ℓ)
									50	65												
									mm													
	2		19	4	4		3	4	35	100	1	2	1	3			1	1	10	2	27	460
	1		4		1	2		1	28	42	1								2		4	
	1		4		1	2	3	1	25	38			1	1					2		5	100
	1		4		1	1	1		35	48			1	1			1		4		6	140
	1		4		1		1	1	21	41	1						1		3		9	180
	1		4		1	1	1	1	32	42	1	1	1				1		4	1	2	180
	7		39	4	9	6	9	8	176	311	4	3	4	5			4	1	25	3	53	1,060
1	3		24	4	10	13	1	6	58	152	1	1	1	5				1	2	11		590
1	3		24	4	10	13	1	6	58	152	1	1	1	5				1	2	11		590
	4	1	31	5	5	5	3	2	74	112	1	1	1	4				1	2		4	600
	1		5		2		1		42	47			1					1	1			90
	5	1	36	5	7	5	4	2	116	159	1	1	2	4				2	3		4	690
1	15	1	99	13	26	24	14	16	350	622	6	5	7	14			4	4	30	14	57	2,340

静岡消防の概況

予

防

警

防

救

急

指

令

火災・救助統計

静岡市消防団

救 助 器 具 (省 令 指

分 類	一 般 救 助 用 器 具												重 量 物 排 除 用					
救助器具名 隊 名 等	か ぎ 付 は し ご	三 連 は し ご	金 属 製 折 り た た み は し ご	ワ イ ヤ ー は し ご	空 気 式 救 助 マ ット	救 命 索 発 射 銃	サ バ イ バ ー ス リ ン グ	救 助 用 縛 帯	舟 型 担 架	ロ ー プ	カ ラ ビ ナ ー	滑 車	チ ェ ー ン ブ ロ ック	救 助 用 支 柱 器 具	マン ホ ー ル 救 助 器 具	油 圧 ジャ ック	油 圧 ス ブ レ ッ ダ ー	可 搬 式 ウ イ ン チ
駿河特別高度救助隊	1	1		1	1	1	1	2	1	15	40	20	2	1	1	1	1	2
清水 高度 救助 隊	1	1		1	1	1	1	2	1	10	25	12	2	1	1	2		2
葵 特 別 救 助 隊	1	1		1	1	1	1	2	1	10	22	5		1		1	1	1
千代田特別救助隊	1	1		1	1	1	1	3	1	15	35	10	2		1	1		2
港 北 特 別 救 助 隊	1	1		1	1	1	1	3	1	18	41	7			1	1		1
庵 原 救 助 隊	1	1		1			1	3	1	10	20	5				1		1
東豊田救助工作車 （ 非 常 用 ）	1	1		1			1	4	1		29	11			1	1	1	1
島 田 特 別 救 助 隊	1	1			1	1	1	1	1	19	26	3	6	1	1	1		3
吉 田 特 別 救 助 隊	3	2		1	1	2	3	8	1	15	20	9	4	1	1	1	1	2
牧之原特別救助隊	3	2		1	1	1	1	7	1	27	36	10	1	1	1	3	2	4
財 産 管 理 課																		
合 計	14	12		9	8	9	12	35	10	139	294	92	17	6	8	13	6	19

分 類	呼 吸 保 護 用 器 具												隊 員 保 護 用 器 具						水 難	
救助器具 名	簡 易 呼 吸 器	防 塵 マ スク	防 塵 メ ガ ネ	送 排 風 機	革 手 袋	安 全 帯	耐 電 手 袋	耐 電 衣	耐 電 ズ ボン	耐 電 長 靴	防 毒 衣	化 学 防 護 服	耐 熱 服	携 帯 警 報 器	放 射 線 保 護 服	個 人 線 量 計	潜 水 器 具 一 式	救 命 胴 着		
駿河特別高度救助隊	3	5	2	1	5	5	5	2	2	2	2	14	3	5	8	8	10	10		
清水 高度 救助 隊	3	5	2	1	5	1	6	5	3	3	3	4	2	5	2	2	5	10		
葵 特 別 救 助 隊		5	5	1		5	2	2	2	2		8	3	5	5	3	5	8		
千代田特別救助隊		5	5	1		4	5	2	2	2		4	2	5	5			10		
港 北 特 別 救 助 隊		5		1		5	5	2	2	2		5		5	2		11	5		
庵 原 救 助 隊			5	1	5	5	5	2	2	2			2	5			8	10		
東豊田救助工作車 （ 非 常 用 ）				1		2								5						
島 田 特 別 救 助 隊	2	14		1	14	3	18	2		12		5		14	2	164		14		
吉 田 特 別 救 助 隊		9	9	1		3	5	3	3	3		7	2	5	2	2	20	11		
牧之原特別救助隊		12	12	2	12	12	5	5	5	5	25	5	2	5	2	5	13	17		
財 産 管 理 課																123				
合 計	8	60	40	11	41	45	56	25	21	33	30	52	16	59	28	307	72	95		

定 物 品) 配 置 現 況

(令和3年4月1日現在)

器 具			切 断 用 器 具							破壊用器具					測定用器具				呼吸保護用器具				
ワイヤーローブ	マット型空気ジャッキ（一式）	大型油圧スプレッダー	大型油圧切断機	油圧切断機	エンジンカッター	ガス溶断器	カッターエッジチェンソー	鉄線カッター	空気鋸	万能斧	ハンマー	削岩機	ハンマードリル	携帯用コンクリート破壊器具	可燃性ガス検知器	複合型ガス検知器	有毒ガス測定器	放射線測定器	空気呼吸器	空気ボンベ	酸素呼吸器	酸素ボンベ	
15	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	5	1	1	1	1		1	1	1	5	15	4	4
6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	2	2	1	1	1	1	1	5	13	4	4
11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1		1		5	19	4	6	
10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	1	1	1	1		1	1	5	15	4	4	
10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1		1		5	18	4	4	
10	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1		1		5	15				
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1			1	1	1							
8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	1	5	11	4	4	
12	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	1	2	1	1		1	1	5	11	4	4	
18	2	1	1	1	2	1	1	5	1	4	1	2	1	2			1		5	15	5	5	
102	12	10	10	10	11	9	9	17	13	29	10	12	10	12	2	9	5	4	45	132	33	35	

救 助 用 器 具							山岳用		その他の救助用器具					高度救助隊用資機材								
水中用投光器	救命浮環	浮標	フロート担架	救命ボート	船外機	水中スクーター	水中時計	バスケット型担架	投光器一式	携帯拡声器	救急処置用セット	緩降器	ロープ登降器	画像探索装置	地中音響探知機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	地震警報器	電磁波探査装置	二酸化炭素探査装置	水中探査装置	
5	10	4		1	1		5		1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
5	3	1		1	1				1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1			
5	7	1		1			4		1	2	1	1	1	2	1	1	1					
7	8			1					1	1	1	1	1	1	1	1	1					
									1	1	2	1	1		1	1	1					
	1	1		1	1				1	1	2	1										
									1	1												
	3			2	1				2	1	2	1	1		2	1	1	1				
13	3		1	1	1				1	1	2	2	1		2		1					
6	1	5	1	2	1		12		1	1	2	1	1	1	1	1	1	1				
41	36	12	2	10	6		21		9	10	17	10	8	8	10	7	8	5	3	1	1	1

消防相互応援協定等の状況

1 地方公共団体等との協定

	協 定 名	締結年月日
1	静岡県消防相互応援協定	昭和62年3月2日 平成29年3月10日改正
2	東名高速道路内の富士・清水インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成20年11月1日
3	新東名高速道路における消防相互応援協定書（新富士インターチェンジから新清水インターチェンジまでの区間）	平成24年4月14日
4	静岡市・志太広域事務組合の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
5	静岡市・浜松市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
6	静岡市・掛川市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
7	静岡市・袋井市森町広域行政組合の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
8	静岡市・菊川市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
9	静岡市・御前崎市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
10	東名高速道路内の静岡・焼津インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
11	東名高速道路内の焼津・吉田インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
12	東名高速道路内の相良牧之原・菊川インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
13	新東名高速道路内の新静岡・藤枝岡部インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
14	新東名高速道路内の藤枝岡部・島田金谷インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書	平成28年4月1日
15	新東名高速道路内の島田金谷・森掛川インターチェンジ間における消防相互応援協定書	平成28年4月1日
16	富士市と静岡市における消防相互応援に関する協定書	平成29年3月22日
17	富士宮市と静岡市における消防相互応援に関する協定書	平成29年3月22日
18	静岡県内航空消防相互応援協定書	平成29年3月31日
19	静岡市・峡南広域行政組合の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定書	平成31年3月10日
20	静岡空港における消火救難活動に関する協定書	平成31年3月22日
21	伊豆マウンテンバイクコース及び伊豆ベロドロームにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日
22	富士スピードウェイにおける東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会消防・救急体制整備に関する応援協定	令和2年2月28日

2 警察その他の機関との協定

	協 定 名	協 定 機 関	締結年月日
1	災害救助に関する共助協定	静岡県公安委員会	昭和31年6月25日
2	消防業務における清水海上保安部等との協定書	清水海上保安部、御前崎海上保安署	平成28年4月1日
3	ガス漏れ事故等防止対策に関する協定書	静岡中央警察署、清水警察署、静岡南警察署、島田警察署、牧之原警察署、静岡ガス株式会社導管ネットワーク事業部静岡導管ネットワークセンター、島田ガス株式会社、一般社団法人静岡県LPガス協会中部支部、静岡県液化石油ガス地域防災協議会、静岡ガスエネルギー株式会社、鈴木商事株式会社、株式会社ザ・トーカイ、中部電力株式会社静岡営業所、中部電力株式会社清水営業所、中部電力株式会社島田営業所	平成28年4月1日
4	東名高速道路日本坂トンネルにおける無線通信補助設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社、志太広域事務組合志太消防本部	平成28年6月1日
5	新東名高速道路富士川トンネルにおける無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社、富士市消防本部	平成28年6月1日
6	新東名高速道路伊佐布トンネルにおける無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社	平成28年6月1日
7	新東名高速道路岡部トンネルにおける無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社、志太広域事務組合志太消防本部	平成28年6月1日
8	新東名高速道路大草トンネル群における無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社、志太広域事務組合志太消防本部	平成28年6月1日
9	新東名高速道路栗ヶ岳トンネルにおける無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社東京支社、袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	平成28年6月1日
10	災害時における消防用水の確保に関する協定書	静岡県中部生コンクリート協同組合	平成30年3月19日
11	中部横断自動車道 両河内トンネル他7トンネルにおける無線通信設備等の使用に関する協定	中日本高速道路株式会社	平成31年3月10日

一般協力者表彰

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
消 火 活 動 協 力	21人（6件）	10人（3件）	20人(4件)	2人（1件）	17人（7件）
救 急 活 動 協 力	14人（5件）	18人（4件）	38人（10件）	7人（4件）	2人（1件）
救 助 活 動 協 力	14人（3件）	9人（3件）	19人（5件）	6人（2件）	11人（3件）
そ の 他		3人（1件）	3人（3件）	1人（1件）	
計	49人（14件）	40人（11件）	80人（22件）	16人（8件）	30人（11件）

※（ ）は災害件数を示す

消防関係表彰

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
消 防 庁 長 官 表 彰	11人	12人	8人	13人	12人
全国優良消防職員表彰	1人	1人	1人	1人	3人
関 東 地 区 支 部 優 良 消 防 職 員 表 彰	2人	2人	2人	2人	3人
全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 功 労 表 彰	24人	23人	11人	23人	22人
消 防 職 員 表 彰	173人	85人	70人	50人	69人
計	211人	123人	92人	89人	109人

公務災害等発生状況

年 度 別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
火 災 等	5件	7件	6件	6件	11件
訓 練	4件	4件	5件	5件	1件
そ の 他	4件	5件	6件	7件	4件
計	13件	16件	17件	18件	16件

※認定日を基準として計上しています。

職員派遣研修状況（外部の研修機関等へ派遣したもの）

（令和2年度）

区分	研修名	人数	小計
消防大学校	幹部科	3	10
	予防科	1	
	危険物科	1	
	新任教官科	1	
	指揮隊長コース	2	
	女性活躍推進コース	2	
県消防学校	初任科	31	125
	上級幹部科	1	
	中級幹部科	1	
	救助科	7	
	警防科	7	
	予防査察・危険物科	7	
	救急科	30	
	火災調査科	7	
	水難救助科	5	
	ビデオ喉頭鏡講習	10	
	処置拡大追加講習	14	
	女性消防吏員講習	2	
	指令センター員講習	1	
	実践の大規模災害対応講習	2	
総務関係	消防実務講習会	1	1
警防関係	全国消防救助シンポジウム（web開催）	6	55
	国際緊急援助隊指導員会議（web開催）	1	
	令和2年度国際救助隊員セミナー	1	
	鉄道車両構造研修会	2	
	J U I D A 操縦技能資格取得講習	5	
	小型移動式クレーン運転技能講習	6	
	玉掛け技能講習	6	
	第一級陸上特殊無線技士養成課程	2	
	第二級陸上特殊無線技士養成課程	1	
	2級小型船舶操縦士免許取得講習	2	
	航空特殊無線技士養成課程	1	
	墜落制止器具のうちフルハーネス型のものを用いて行う業務	15	
	令和2年度山岳遭難研修会	1	
	令和2年度改正 伐木等の業務（チェーンソー）	3	
	国際緊急援助隊救助チーム技術訓練	2	
	国民保護C R テロ初動セミナー	1	

区分	研修名	人数	小計
救急関係	救急救命士東京研修所派遣	3	152
	救急救命士再教育病院実習	80	
	救急救命士就業前研修	7	
	気管挿管病院実習	4	
	全国救急隊員シンポジウム（web開催）	2	
	静岡県西部ドクターヘリ事後検証会（web開催）	44	
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	2	
	ビデオ喉頭鏡による気管挿管病院実習	8	
予防関係	災害医療コーディネート研修会	2	23
	屋外タンク実務担当者講習（web開催）	2	
	高圧ガス保安法令セミナー	1	
	高圧ガス保安法研修（web開催）	1	
	水素保安セミナー（web開催）	1	
	火薬類取締法研修（web開催）	1	
	行政機関向け高圧ガス保安法令等勉強会（web開催）	1	
	高圧ガス製造事業者保安講習会	2	
	予防技術検定	10	
	高圧ガス保安法の許可、届出に係る運用と解釈説明会	1	
	第5地区大容量泡放射システム運用連絡会	1	
	E N E O S (株) 根岸製油所内での放水訓練見学会	2	
合 計		366	

消防音楽隊



静岡市消防音楽隊は、昭和63年4月1日、市民の皆様に対する防火・防災意識の普及啓発を目的として、隊長以下40名で発足しました。その後、平成15年の静岡・清水の合併を経て、新たな静岡市消防音楽隊となり現在に至っています。

これからも消防業務の遂行とともに、日々、演奏技術の向上に努め、「市民と消防」の架け橋として、「安全・安心に暮らせるまち」の実現のために活動を行っていきます。

1 出演実績一覧 (令和2年度)

	出演内容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

※新型コロナウイルス感染予防のため、出演していない

2 活動状況

(令和2年度)

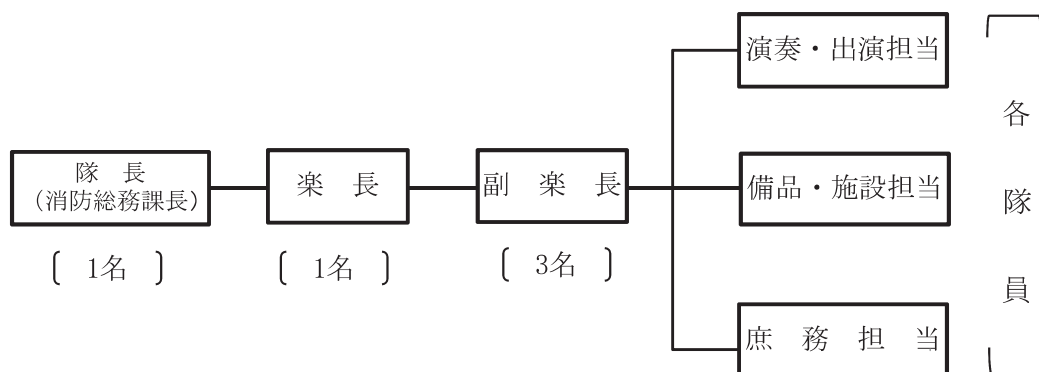
	訓練回数		出演回数	出演の内訳		
	合奏	マーチング		消防関係	市関係	その他
合計	19	0	0	0	0	0
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月	4					
11月	4					
12月	3					
1月	4					
2月	1					
3月	3					

3 編成

(令和3年4月1日現在)

楽器 勤務 体制	総 数	フル ート	クラ リ ネ ット	アル ト サ ツ クス	テ ナ ー サ ツ クス	バリ トン サ ツ クス	トラ ン ペ ット	ホル ン	トロ ン ボ ーン	ユー フ ォ ニ ア ム	チ ュー バ	パー カ ッ シ ョ ン	その他
当直勤務	32	4	6	2	2		5	2	3	1	3	4	
毎日勤務	4			1		1		1					1
総 数	36	4	6	3	2	1	5	3	3	1	3	4	1

4 構成



静岡消防の概況
予
防
警
防
救
急
指
令
火災・救助統計
静岡市消防団